
ざわざわぱつん

蒼山

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ざわざわっふつん

【Zコード】

Z7543D

【作者名】

蒼山

【あらすじ】

昼寝をした「俺」が見た奇妙な夢の奇妙な話……。

なんというか、とにかく眠い。

いきなり眠気が襲ってきた。

ナルコレプシーでは……と思つたが、きっと昨日よく寝てなかつたせいだろう。

明日から期末試験なのが……。

まあいいさ。何となる……状況ではないけど、何となるだろう。そんなどうしようもないことを考えながら、俺はベッドにもぐりこんだ。

なぜかうつ伏せで寝たい気分だったので、うつ伏せに寝た。俺はつかの間まどろみ、そして眠りに落ちた。

……なんだ？

金縛りに遭つているような気がした。

動けないのだ。

頭にはテレビの砂嵐の映像が流れている。そしてザーッとこづノイズが聞こえる。

視覚でものを見ているという感覚はない。

ノイズに混じつて、声が聞こえた。

低い声で、何か囁いている。

いや、囁いているのかどうかはハツキリとはわからない。

数多の蟲が、地を這つているような、ざわざわとした音だ。

その音が、時折低い音になつたり高い音になつたりしている。

俺には何か囁いているように思えた。

何て言つてゐんだ？

……おまえじやねえよ

何がだ？

……おまえがだよ

意味が分からんな。

……わかつてゐはすだ

知らな。

……まつまつまで行つては引き返し、まつまつまで行つては連れ戻されて、繰り返すうちにだんだんおまえは薄れて、もつおまえはおまえじやない

やめい。

……まな板に乗つては戻り、乗せられては逃げる。誰かがさばかれても、ただ立ち廻くして見てはいるだけだ

黙れ。消え失せろ。

……もつ、やめちまえよ。その服はもつお前のじやないし、そこはお前のいる場所じやない

もとから俺は、やつだつたのか？

……やあな

でもな、生憎まだやるべからず、やつたことじがある。

.....

頭が……痛い。脳が圧縮されてこらゆづな感じだ。

やめいー。

やめいー……やめいー……ー。

やめいー。

やめ

。

(後書き)

いつも、蒼山で「jyoti」ます。

最近深夜の散歩にハマっています。

昼間は騒々しい通りでも、夜中になると静かになつて、また違つた一面を見ることができて楽しいです。

誰もいない道ぼつんと一畠たつている皿販機の螢光灯の明かりを見たりすると、なんとなく切ないような、そんな感じがします。それが蒼山は好きなのです!!

……はい。もうワケがわかりませんね。そしてこの短編も全く意味が分かりません。

まあ蒼山が見た夢を脚色して文章におこしただけですからね。夢に脚色するからおかしくなるんでしょうね。

……やっぱ小説書くときにはメタル聴くのはダメなんでしょうかねえ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7543d/>

ざわざわぱつん

2010年11月24日16時05分発行